

零

-ゼロ-

ゼロ、それは異端の数字。

中世ヨーロッパにおいては悪魔の数字とみなされ、ローマ法王によって使用を禁止された時代もあった。しかし、古代インドにおける「数」としての「ゼロの発見」が、数学史の大きな飛躍をもたらし、それが現代のわれわれの社会生活を支える基盤ともなっている。

「無」と「無限」につながる概念、ゼロ。身のまわりに潜むさまざまな「ゼロ／0／零／ZERO」の本をご紹介します。

『ZERO 上・下』

麻生幾／著 幻冬舎 2001年



ZERO——それは公安警察の活動すべてを指揮し、公安組織の頂点に立ち続ける極秘組織の名。警視庁公安部外事二課に所属する“ウラ”の捜査官・峰岸は、中国大使館による大がかりな諜報活動事件の端緒をつかむが、その捜査の過程で、すべてのウラ情報を握ろうとする ZERO と激しく対立する。

ZERO による執拗な妨害と、跳梁する中国諜報部のスパイ。二転三転しながら、まったく予想しない方向に向かっていく事態の先には、海上自衛隊をも巻き込んだ、国同士の戦いが待っていた。迫力の日本スパイ小説！



『ゼロと無限の科学』

ニュートンプレス 2006年

ブラックホールに接近する探査機は、見かけの速度が「ゼロ」になる。レンガを横にずらしながら上に積み上げていくとき、そのレンガは「無限」に横へ伸びていく。「ゼロ」と「無限」の概念の持つおもしろさや不思議を、現代科学や数学の面から、カラー図解で分かりやすく紹介する。「ゼロ」と「無限」の導く神秘の世界へ、ようこそ！

『0歳からのスキンケア 子どもの肌の一生を決める』 友利新／著 イースト・プレス 2017年



赤ちゃんや子どもの皮膚は大人と比べてとても薄く、トラブルを起こしやすい状態にある。皮膚のバリア機能が未成熟な赤ちゃんだからこそ、生まれてすぐのスキンケアが大事！ 赤ちゃんのスキンケアの方法から、肌トラブルやアレルギー体質のことまで、医師であり母親である著者が、分かりやすく解説する。「0歳からのスキンケア」——それは、親が子どもへ贈る、最初のプレゼントなのだ。



『午前零時』

鈴木光司〔ほか〕／著 新潮社 2007年

お月さまのきれいな夜の午前零時に、小学3年生だった私が空に見たものは。
（『夜、飛ぶもの』／朱川湊人）

記憶を失い、ゼロから人生をやり直すことになった男は、実験に己の運命を託す。
（『ゼロ』／高野和明）

28歳の11月1日、真夜中の1秒過ぎに出会うという、私の運命の結婚相手は誰？
（『真夜中の一秒後』／石田衣良）

13人の作家たちが紡ぐ、さまざまな「午前零時」をめぐるアンソロジー。

『知識ゼロからのスーパーフード入門』

柴田真希／著 江田証／医学監修 幻冬舎 2017年



水に浸けると約10倍に膨らみ、食べ過ぎ防止になるチアシード。白米より豊富な食物繊維とミネラルで、燃えやすい体にするキヌア。ポリフェノールと鉄が豊富で、女性の健康と若さの味方・アサイー。さまざまなスーパーフードを、体調や美容の悩み別に、美味しい食べ方と共に紹介する。

科学も認めた栄養の宝庫・スーパーフードのことがゼロから分かる一冊です。

平成30年6月
編集・発行：さいたま市立与野図書館 さいたま市中央区下落合5-11-11
TEL 048-853-7816 FAX 048-857-1946